

# 改題 土楽たより

どうらく Kogure 農場 10月号 (NO78)

2016年10月10日(月) 発行(毎月10日)

## 【農暦】水を好む里芋類は葉を大きく繁茂!

○今日(3日)は曇りのち雨である。半袖では少し寒い感じがしていたがちょっとした加減で暑いになる。台風の影響、前線の位置などで目まぐるしく変わる。時々かつらと晴れ湿度も少なく好天にもなる。天気が1日で、時間で変わる。ここ1ヶ月の日照時間が極端に少ない。野菜などの収穫に影響が必至である。蒸し暑さが続いている。3日午後7時現在、猛烈な勢力の台風18号が久米島の南海上にあつて1時間におよそ20キロの速さで北北西に進んでいる。中心気圧は905ヘクトパスカル、中心付近の最大瞬間風速は85メートル。今後も猛烈な勢力を維持する見込みとテレビで報じていた。台風は海水温が高いと成長し巨大化するという。今年は猛烈な台風が多い。

○稲の収穫は田んぼの状態を見ながら晴れの日の一ポイントで行うと聞く。多くの田んぼは収穫が終っており、ホットされたところだと思う。作況は全国では平年並みで、茨城はやや良いの102(平年並み100の情報もある)という。異常な天候に影響されず何よりである。野菜類は高値になっている。我が畑では注力出来ていないこともあるが、大根はまき直し、食用菊の“もつてのほか”は花が茶色に腐り始めている。収穫は望めそうもない。水を好む里芋類は多量な雨水でと思うが、葉を大きく繁茂させている。収穫が楽しみである。(3日記)



<西山壮>光圀公73歳で亡くなる迄の10年間を過ごされた隠居所2日撮影

○7-8日と元会社の古いOB仲間の訪問を受けた。“Kさん幹事ご苦労様でした。笠間の2日間懐かしい仲間と楽しい時間が持てました。ありがとうございます。いろいろあり、また気力の衰えもあり素のままの草に負けた菜園をお見せすることになりました。Hさんからは援農の暖かいお言葉を頂きましたが、主体があつての援農です。今毎週1日援農頂き細々と範囲を限って続けています。来年は大胆に畑の計画を見直しして草に勝てるものと相談しているところです。今から5年前10年前を振り返ると寂しいものがあります。能動的なフェードアウトを視野に見直しを考えています。少し言い訳が長すぎました。今回の来笠間に際し笠間の友人の気使いに感謝し、私の気使い不足反省しています。また笠間にお越し下さい。土楽小屋で宿泊も可能です。PS、昨夜柏に戻り、皆さまの話をしながらお土産のお菓子をみんなで頂きました。Mさんありがとうございます。”とお

礼のメールを送った。

○OB 仲間は畑の状態を見て本当に心配してくれたのだと思う。生涯現役の農的生活だったはずが、最近では、楽しむ事や健康が優先されて私が考えている以上に、菜園は荒れて見えたのだと思う。また、言い訳になるが天候不順の影響も大きい。能動的なフェードアウトのシナリオを真剣に考えたいと思っている。

○今年も金木犀の香りで秋を感じた。台風風の風でと思うが、1日で消えてしまった。好きな香りをもう少し楽しみかった。薩摩芋、里芋の収穫どきである。楽しみである。

### 【楽農】とにかく除草！

<畑 A> ; 大根の播種（まき直し）、草払機などで隣地の葛、  
周辺も除草。栗拾い。

<ハウス> ; なし

<畑 B> ; 、白菜の定植、薩摩芋・カボチャの収穫。  
トラクター、草払い機で除草。

\*除草だけしているような気分。



<バンジージャンプ> 竜神峡から大ジャンプ。2日撮影

### 【楽市】イベント交流・直売など

○その他 ; 吟詠県西大会（25日）魅力発信隊ワークショップ（29日）TB八郷大会（1日）交歓吟詠会（2日）OB会（7-8日）に参加など。

### 【つぶやき=Tweet】出来たら良い出会いだけを！

○“この齢になって人とのかかわり合いで嫌な思いをしています。人間の性（さが）は恐ろしいとつくづく思いました。人との出会いで人生の良し悪しが決まると思いますが、今まではよい出会いが多く、悪い出会いを気にしないで済んだように思えます。気力が落ちているのか人嫌いになりそうです。愚痴になりましたが、いろいろあり人生の断捨離の時期にあるように感じています。長いメールになり失礼いたします。”と柏の仲間へのメールの追伸に書いていた。定年後では、よい出会いもあったが、あまり良い出会いがなかったように感じる。自分の中にある悪い人間性が、悪い人間性の人を呼び込んでいるのではないかと、自己嫌悪の気分になる。人生には季節があると先号で書いたが、白秋を過ぎて玄冬（60代前半以降）の時期に当たる。子供の揉め事は、重く深い傷を負い残すこともあり、悲しいものがあるが、玄冬の齢では、ただ醜いだけであ



<西山壮の心字池> 人の心は裏側から見ても潔白な人は友人に値すると、。2日撮影

る。ノーベル賞（医学・生理学）を受賞された大隅良典さんが4日のテレビで良い出会いの話をしてきた。出来たら良い出会いだけにしたいものである。

○西山壮を2日に見学する機会を得た。心字（こころじ）の池に“人の心は裏側から見ても潔白（正直）な人は友人に値する”と記されていた。光圀公も人との出会いでは悩まれたのかもしれない。「最悪の将軍」の朝井まかて（著者）さんへのインタビュー記事を読んだ。光圀公と関係の深い「生類憐れみの令」で「犬公方」と揶揄された将軍綱吉のことである。武断政治から文治政治に転換し、質実剛健という武士のイメージの基礎をつくられ、現代に繋がる日本人の価値観のベースがつけられた時代である。江戸城を訪ねたドイツの医師ケンペルは『日本誌』の中で綱吉の政策を非常に高く評価しているという。綱吉が処断を下した忠臣蔵も真逆の評価もある。歴史はとかく権力を握った側に都合よく書かれるという。遠まわしにお上の裁きを批判する題材として演じられてきた 代表格が、「仮名手本忠臣蔵」だった。綱吉以降の権力者の思惑（今日で云う“ポピュリズム”\*注）で「犬公方」の評価が決まったのかもしれない。歴史に学べと謂うが表面だけのものにしてはいけない。「最悪の将軍」が読みたくなった。

○同じ日に水戸殉難志士ノ墓のある回天神社に廻った。水戸天狗党など幕末の水戸藩には過酷なものがある。藩内（隣人）で殺し合ったのである。感傷的に語る事だけではいけないと思う。揉め事から出会い、そして綱吉、光圀、斉昭（幕末）と偶然にも繋がってしまった。愚かな人間の性からは逃れたい。愛、慈悲や感謝にしか救いはないのかもしれない。良い出会いも同じところにあるように思える。精神主義的な言い方になってしまったが、人間嫌いにはなりたくない。李白の詩に“何の意あつてか碧山に棲むと”があるが、俗人には俗社会にしか生きられない。玄冬の齢にあつて寂しいと言うしかない。

○アンジェイ・ワイダが90歳で9日に亡くなられたと報じられた。ポーランドの映画監督である。「灰とダイヤモンド」「地下水道」は余りにも有名であった。今の若い人には判らないと思うが、当時は、映画は大きな存在であった。大きな影響を受けた。映画館で映画を月1回は観たいと思うのだが中々出来ない。訃報に接し、その想いを強くした。

\*注；ポピュリズム（英: populism）とは、一般大衆の利益や権利、願望、不安や恐れを利用した政治思想または政治姿勢のことである。今の政治家（政権）がよく使う。解説不用と思ったが、。

【後記】紅葉もそろそろ、笠間に、kogure農場にお越し下さい。HPに転載しています。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<水戸殉難志士の墓>1865 柱。  
過酷な歴史が、。 2日撮影

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>